

どうなん海道サイクルルート



道南サイクルツーリズム推進協議会
会長 奥平 理

写真は国道228号上ノ国町小砂子にて撮影

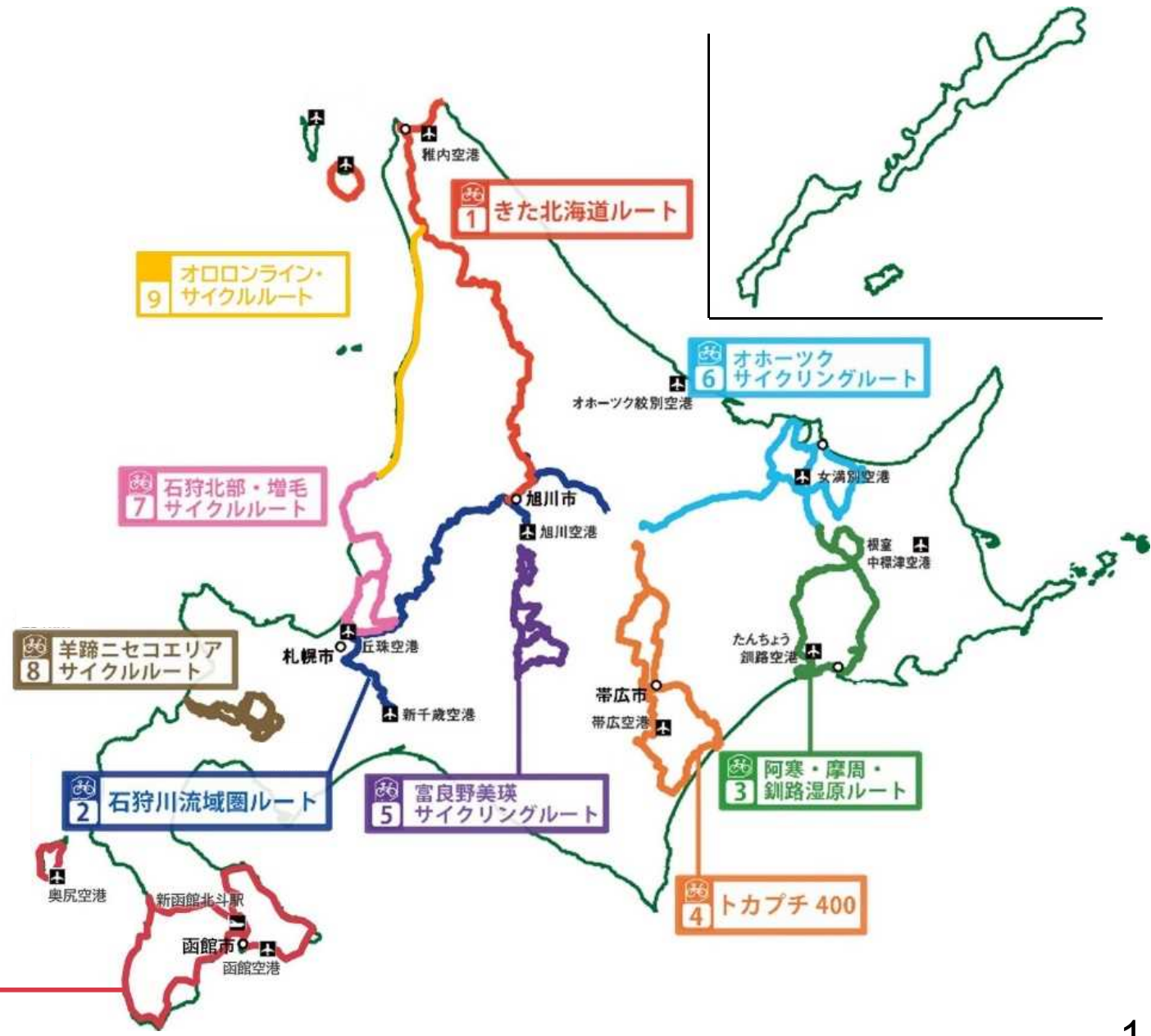
かい どう どうなん海道サイクルルート ルート概要

ルート概要

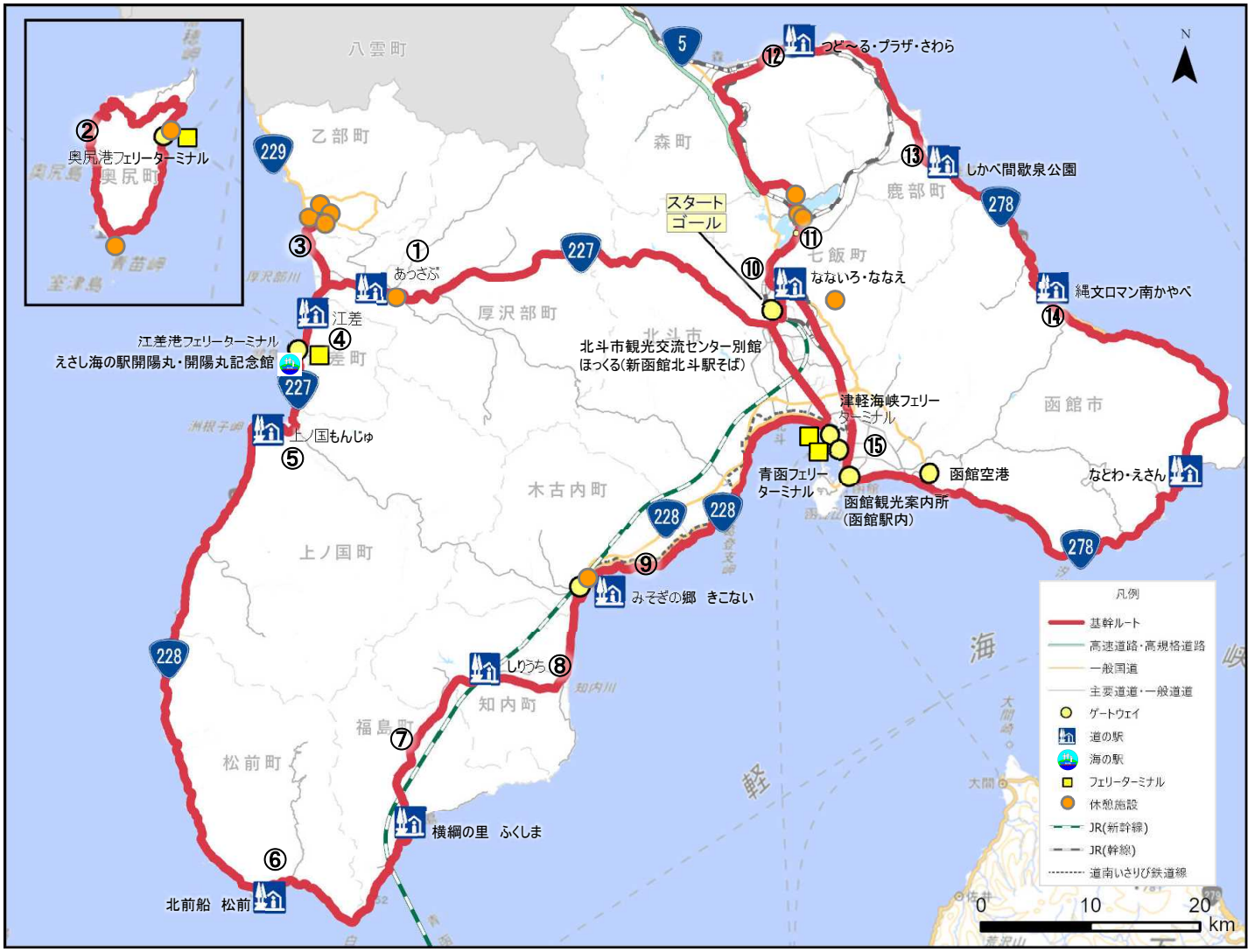
- **キャッチフレーズ**
 - ・津軽海峡・日本海・太平洋を8の字で結ぶ『歴史』と『風景』を楽しみながら巡るサイクルルート
- **延長**
 - ・東ルート約168km、西ルート約234km、奥尻島ルート約57kmの全長約459km
- **通過市町**
 - 東ルート: 北斗市、七飯町、森町、鹿部町、函館市
 - 西ルート: 北斗市、木古内町、知内町、福島町、松前町、上ノ国町、江差町、乙部町、厚沢部町
 - 奥尻島ルート: 奥尻町
- **ルートの特徴**
 - ・世界遺産である北海道・北東北縄文遺跡群、津軽海峡・日本海・太平洋と大沼・恵山・奥尻島の絶景、函館や松前・いにしえ街道の歴史的建造物群、桜や花に囲まれた道など、魅力的な観光資源が点在し、道南地域の『歴史』と『風景』を8の字で巡ることができる
- **主な経由地(観光資源)**
 - 【歴史】
 - ・世界遺産: 北海道・北東北縄文遺跡群「垣ノ島遺跡、大船遺跡」
 - ・日本遺産: 歴史的建造物群を有する「いにしえ街道」
 - ・文化遺産: 松前神楽
 - ・北海道遺産: 五稜郭と箱館戦争の遺構、福山(松前)城と寺町、函館山と砲台跡、函館西部地区の街並み
 - 【風景】
 - ・自然公園: 大沼国定公園、檜山道立自然公園、松前矢越道立自然公園、恵山道立自然公園
 - ・主な景勝地: 駒ヶ岳、さわらフラワーロード、活火山恵山、オクシブルーの海、滝瀬海岸(シラフラ)、北海道夜明けの塔、サラキ岬、じゃがいも畑、重内さくらロード、きじひき高原など

道南待望のサイクルルートは
全ルート最長の約459km!
どうなん海道サイクルルート

北海道のサイクルツーリズム サイクルルート



かいどう どうなん 北海道サイクルルート ルート概要



【^{かい どう}どうなん海道サイクルルートの主な取り組み】

ルートが考えるターゲット

○ルートが考えるターゲットについて

- ・当ルートは、全長約「459km」のサイクルルートで、道南地域の「歴史」と「風景」が楽しめるルート。
- ・陸・海・空のゲートウェイを有することから、北海道の玄関口として、国内外のサイクリストが長期滞在で楽しめるルートとして提案していきたい。
- ・豪華客船が停泊することから海外の富裕層も対象と考えている。



渡島西部ルート
(江差町)



渡島東部ルート
(函館市)



北海道の玄関口
(新函館北斗駅周辺)

現在、力を入れている取り組みについて

○走行環境や受入環境、情報発信等で現在力を入れていること

- ・基幹ルートの休憩場所として、約「20km」間隔に「道の駅」・「海の駅」等があり、施設としての利活用と連携。
- ・地域の公共交通機関との連携や地域企業との連携。
- ・SNSやYouTubeの活用、HPを基に発信。
- ・ロゴマークやサイクルジャージの活用、PR。今後、インバウンド客向けのお土産の商品開発を検討。



道の駅へのラック配置



道南いさりび鉄道の乗車試行



HPIによる情報発信



ロゴマークの作成



サイクルジャージによるPR

これまでの主な取り組みについて

道南サイクルコースツアーの継続実施

協議会では、「松前・江差の歴史文化探訪サイクルツアー」を2017年から継続的に開催し、今後も場所を変えてツアーを企画していきます。

ポスターには「2018年10月6日～10月8日 2泊3日」とあり、参加費やコースの詳細が記載されている。



松前・江差の歴史・文化探訪サイクルモニターツアー
(2018.10.6～8 木古内町・知内町・福島町・松前町・上ノ国町・江差町 協議会主催)



松前・江差の歴史・文化探訪
サイクルモニターツアー
(2018.10.6～8 福島町他 協議会主催)



台湾招聘ツアー 台湾から6名参加
(2019.10.3～5 木古内町他 協議会主催)



青森連携サイクリングツアー
津軽海峡マグロ女子会とコラボ
(2020.10.2～4 松前町他 協議会主催)

【^{かい どう}どうなん海道サイクルルートの主な取り組み】

これまでの主な取り組みについて

公共交通との連携

函館バスが2019年4月に自転車を後方にそのまま搭載できるバスを国内でも先進的に
造成し、定期運行や貸切使用を実施しています。
道南いさりび鉄道が2021年から列車へそのまま自転車を乗車する試行を始めています。
これらの公共交通機関を用い、サイクルツアーを開催しています。



函館バス利用の様子
(2019.7.14 丹羽サイクルツアー道南エリア
協議会主催)



函館バス利用の様子
(2023.10.2 ガイド強化ツアー 協議会主催)



道南いさりび鉄道利用の様子
(2022.10.1 JTB主催ツアーと協議会コラボ)



道南いさりび鉄道利用の様子
(2021.7.31 サイクリングツアーの事前調整
協議会主催)

地域企業との連携事業

サイクルツーリズムの地域への浸透を目的に、企業と連携した
活動を行っています。
江差町の老舗和菓子店「五勝手屋本舗」と連携し、羊羹を補給
食とする商品の開発を実施しています。



企業と連携し補給食として商品開発した羊羹
(2023 江差町 協議会連携)

【^{かい どう}どうなん海道サイクルルート^の今後の取り組みと課題】

将来(次年度以降)取り組んでいきたいことについて

○今後の活動予定や地域からの要望、要求など

- ・基幹ルートの走行環境整備。
- ・レンタサイクルの仕組みづくり、拠点づくりと整備。
- ・函館バスで製作したサイクルバスの認知度の向上と活用。
- ・エリアサイクルガイドの育成と普及、スキルアップ。
- ・サイクリスト応援カーの整備検討。



注意喚起路面標示
(新中山トンネル)



観光協会でのレンタサイクル
(道の駅 みそぎの郷 きこない)



サイクルバスの活用
(函館バス)

課題について

○現在、直面している課題について

- ・自転車利用者の安全性とマナーの向上。
- ・ツアー客・インバウンド客の受入体制とガイド支援・育成。
- ・受入環境・走行環境整備に対する協力体制の確保。

○将来、取り組みたい事項に関する課題について

- ・道南全域でのレンタサイクル導入・整備と仕組み、一帯でのサイクル観光の推進。
- ・来訪者や地域の方でも気軽に楽しめるサイクリングルートを目指した環境整備。

○課題対処の取り組み例

サイクリングガイドの育成

エリア内では、サイクリングツアーガイドの有資格者育成のため、日本サイクルツーリズム推進協会の講師によるサイクリングツアーガイド育成講座を開催し、ガイドの育成を行っています。2019年度から現在までに3回、18名がガイド認定を受けています。



走行安全講習の取組の様子



観光庁インバウンドサイクル
ツアーへのガイド協力



サイクリングツアーガイドの有資格者育成講座
(2020.8.8 江差町 協議会主催)



サイクリングツアーガイドの有資格者育成講座
(2022.5.14~15 江差町 協議会主催)



サイクルガイド養成講座

函館管内のサイクルツーリズムに関する動向

地域によるツアーの開催

地域の観光協会では、市内観光・体験型ツアー・新幹線からの乗り継ぎ列車待ちの客層を狙ったEバイクツアーを企画する等、地域による様々なツアーが開催されています。

農業等の自然体験や観光地巡り等を行うツアーで、自然を体感できる移動手段としてEバイクを利用	
2023/10/12	<p>「人」と「食」をつなぐ旅 ファームトゥテーブル(モニターツアー)</p> <p>参加人数:5人</p> <p>経由地:新函館北斗駅出発～大野川沿い大ケヤキ～ライスセンターの景観～六輪村～文月ワイナリー～八郎沼～白石農園～鈴木牧場牛乳～新函館北斗駅着</p>
2023/10/20～22	<p>北海道で「動と静」のプログラムを体感し心と身体を整え再生させる「HOKUTO Retreat」(モニターツアー)</p> <p>参加人数:3人</p> <p>経由地:1日目・北斗星スクエア～湯の沢水辺公園～トマト王国 宗山農園～北斗星スクエア～鮭の遡上見学～矢不來天満宮～北斗星スクエア</p> <p>2日目・北斗星スクエア～当別 風の丘～ルルドの洞窟～NAMIKOI JAPAN～当別 風の丘～星空観察</p> <p>3日目・当別 風の丘～北斗星スクエア</p>



2023.10.12 Eバイクを用いた体験型ツアー
「北斗市観光協会」主催



2023.10.20～22 Eバイクを用いた体験型ツアー
「北斗市観光協会」主催

サイクルマップ・PR動画の作成

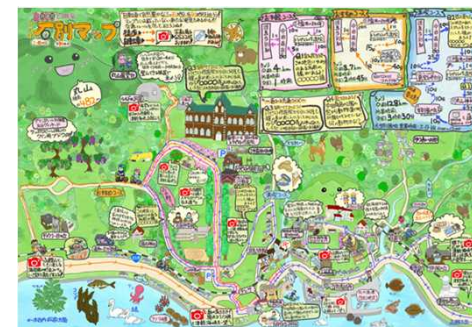
自治体や協議会では、サイクリストを呼び込むために、サイクリングマップやPR動画を作成し、YouTube等で公開し、地域の魅力を発信しています。



サイクリングマップ(協議会)



PR動画(七飯町・森町・鹿部町)



サイクリングマップ(北斗市)

函館管内のサイクルツーリズムに関する動向

走行会の実施

基幹ルート全体や複数の市町において、魅力のあるサイクルルート開発のために試走会や意見交換会を実施しています。

基幹ルート全体

基幹ルート策定に向け、基幹ルート案を試験走行した後にミーティングを実施



試走後に策定した基幹ルート(案)



2022.8 道南サイクルツーリズム推進協議会主催

七飯町・森町・鹿部町

地域の方に基幹ルート案の魅力を体験してもらうため、試走会を実施



2023.10 七飯町・森町・鹿部町
函館開発建設部主催

函館市・北斗市・知内町・木古内町

自治体と連携し、散走や地域コースの試走により資源調査を実施



函館散走から
青の洞窟
クルーズコース

Route Date

移動時間 1泊2日
移動経路 函館→北斗→知内→木古内
総距離 約134km
難易度 初級・中級レベル

異国情緒にあふれる
函館西部地区を散走し、
道南の秘境をクルーズで巡る
盛り沢山の1泊2日コース



2021 函館市・北斗市・知内町・木古内町
どうなん自転車倶楽部主催

木古内町・松前町・江差町

アドベンチャートラベルワールドサミット北海道2023(ATW)プレサミットアドベンチャー(PSA)のコースの提案とサイクルガイド・地域ガイドを実施



2023.9 木古内町・松前町・江差町
アドベンチャートラベルワールドサミット北海道主催

写真は白神岬にて撮影



写真は道の駅「みそぎの郷きこない」にて撮影

